

水素炎イオン化検出器(FID)のメンテナンス手順

定期的に以下のメンテナンスをされる事をお勧めします。

コレクターのクリーニング

ジェットクリーニング、交換

下線部の各部名称は図を参照下さい。カッコ内は部品番号です。

手順

オープン、注入口、検出器の温度を室温まで下げる。

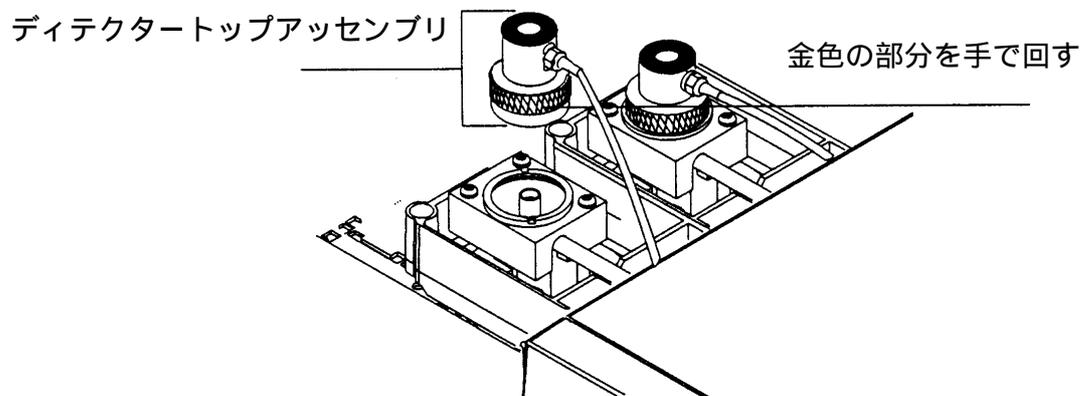
すべての温度制御を OFF にして、検出器の電流を OFF にする。

カラム、検出器に流れているガスを止める。

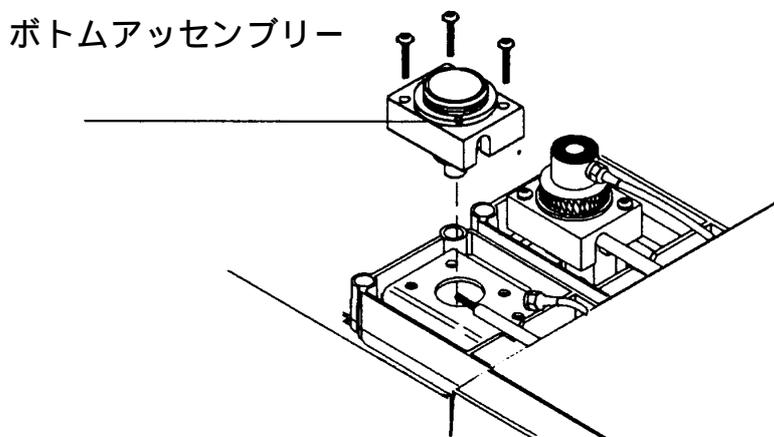
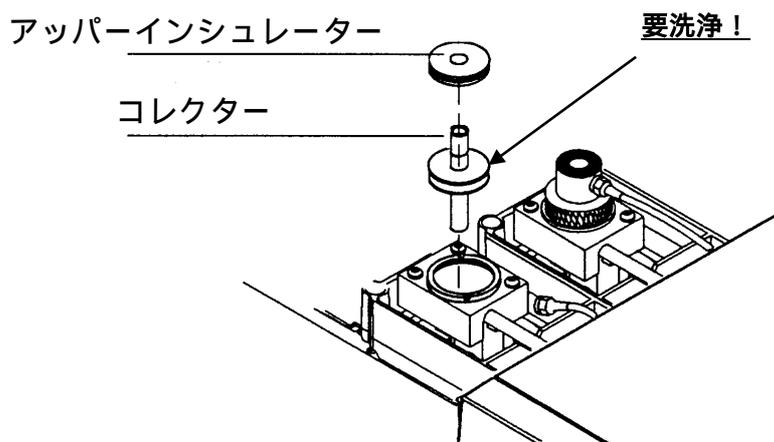
GC のメイン電源を OFF にする。

カラムを取り外す。

コレクターナットを手でゆるめ、ディテクタートップアセンブリを外す。



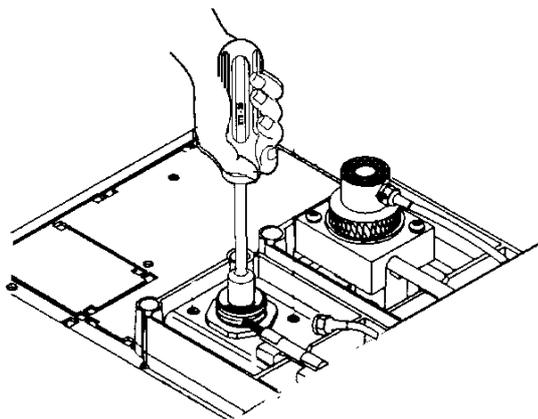
中にあるアッパーインシュレーターとコレクターを取り出し、3つのネジをゆるめ、コレクターボトムアセンブリも取り外す。



コレクターは汚れるところです。

クリーニングブラシで掃除をした後、メタノール、アセトン等で超音波洗浄をして、よく乾燥して下さい。

ジェット用ボックスドライバー（付属品）でジェットを取り出す。



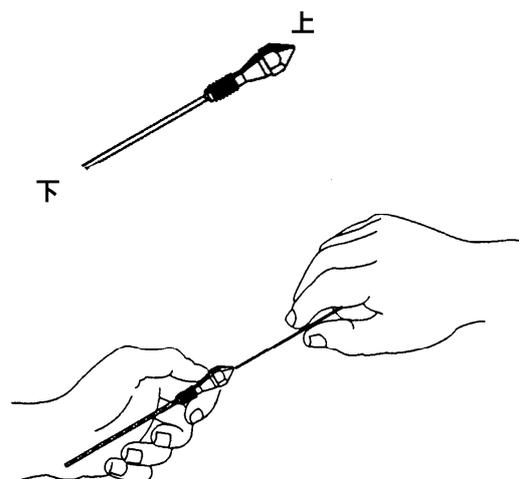
ジェットは汚れるところです。

クリーニングワイヤー（太：5180-4150）を下から入れて、掃除して下さい。

クリーニングワイヤー（細：5180-4152）を上から入れて、掃除して下さい。

そのあと、メタノール、アセトン等で超音波洗浄をして、よく乾燥して下さい。

クリーニングワイヤーをお持ちでない場合は、超音波洗浄をし、充分乾燥し、JET に詰まりが無い事を確認してください。

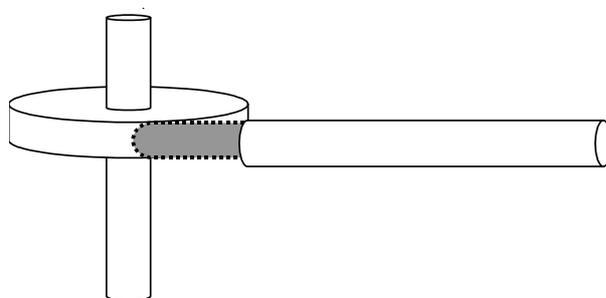
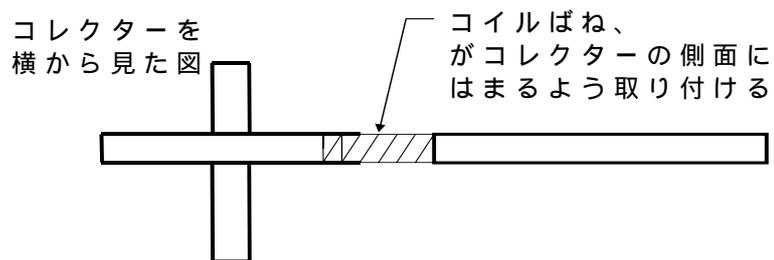
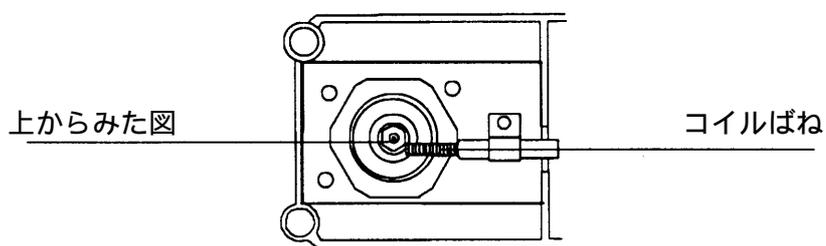


ジェット洗浄後、ボックスドライバーで止るところまで締めます。

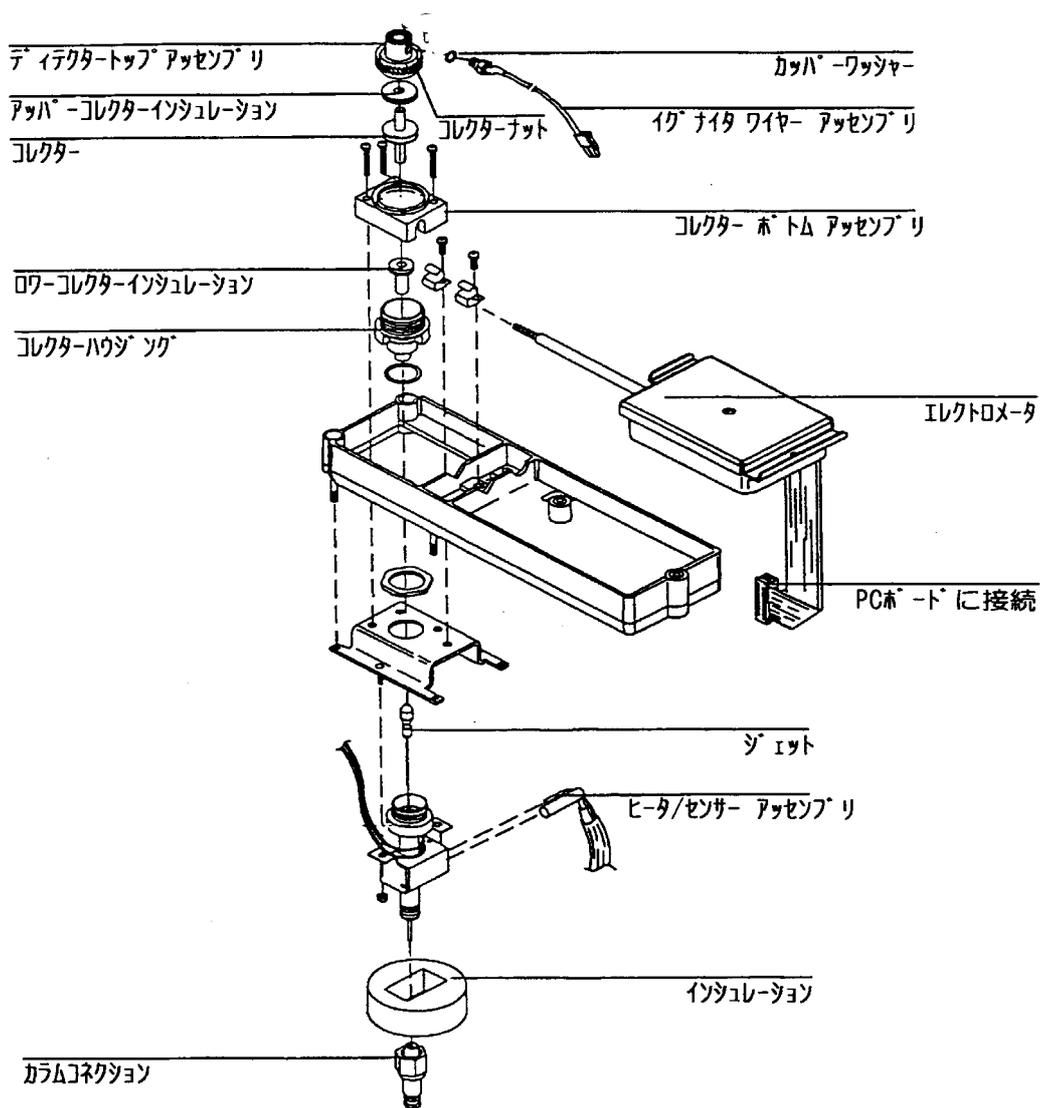
この時、強く締め過ぎるとジェットが変形する恐れがあります。

全て、もとに戻す。

コレクターをコレクターハウジングにはめる時、横に出ているコイルばね、がコレクターの横に入ったことを確認して下さい。(始めに、コレクタボトムアッセンブリの中にコレクターをいれ、一緒にしてはめると、入れやすくなります。)



F I D 各部名称 (本図の様に分解する必要はありません)



はじめて使う GC ケミステーション
